

が、十二月二十日過ぎに支払われる予定になっています。

3・米の集荷、流通対策として、特定米穀出荷助成を行います。登熟不良等により例年の三倍以上のくず米の出荷が予想されることと、正規流通米の品質確保等の観点から、三十グラム1袋につき九百円を助成していきます。

次に次年度以降の生産対策として、作付けの基本となる種子について品種に応じた必要量の確保に努め、被害農家に対し優良種子の安定供給と価格に対する助成をしていきます。

また、就労対策として県単緊急農村整備事業を実施し、県と同率の助成で農家負担の軽減を図るとともに、就労の場の拡大を図ります。さらには被害農家飯米確保対策ですが、収穫皆無や飯米の確保が不可能な農家百二十一戸から申し込みがありました。このことについては食糧庁からの通達もあり、その制度を活用して被害農家の自家用飯米の安定供給に努めます。

地方税等減免対策ですが、市民税、国民健康保険税については、被害の程度に応じた適正な減免措置を講じていきます。また、被害農家子弟の奨学資金の繰り延べ措置についても、条例に基づいて対処していきます。最後に、中長期的対策として、

冷害克服には深水管理が大切といわれることから、本年の冷害を教訓に深水管理の徹底を図るため、特に高冷地に畦塗機を配置し、今後の被害軽減に努めます。また山間高冷地においては、気候に左右されない農業への転換、米だけに偏らない多様な作物や立地条件を活用した高品質の野菜や花き、畜産の導入等を強力に指導して、農家の経営安定に努めたいと考えています。

松峰・深沢鉱山の操業休止について

松峰・深沢両鉱山の操業休止については、十一月十六日に会社側から説明を受けました。鉱量枯渇とコスト高に加え、非鉄金属の国際価格の低迷、さらに円高の進行により操業継続が困難となり、来年三月をもって操業休止とするほか、従業員については三月末日をもって百八十人全員を退職するという非常に厳しい内容でした。

また、再就職に関しては、産業廃棄物の最終処分場及びリサイクル事業への新たな取り組みを開始するほか、同和グループへのあつせん等により百人前後の方の受け入れ先を用意しているとのことです。二、三年後に年金受給者が七十人程度に達することから、この方々を除いて

職種、地域に選り好みがあれば、大部分の方の再就職は可能との見解が示されました。

私が海外出張中にこの連絡を受けましたので、不在中の対応策について早速指示を出し、まず議会への報告ということで議長、副議長、各常任委員長及び地域経済活性化対策特別委員長へ報告して、二十六日には、市議会全員協議会で、それまでの経過を報告した次第です。

さらに十二月二日には第一回目の「大館市鉱山緊急対策協議会」を開催し、国、県をはじめ関係諸機関への陳情、要請を通じて、代替産業の起業化、雇用確保対策の促進、関連中小企業対策等に全力を挙げて取り組むことを決定しました。

八日には、本市と小坂町及び両市町の議会議長、商工団体等

関係者とともに、県知事へ協力、支援方を陳情する予定です。

大館能代空港について

圏域住民三十八万人の足掛け七年にわたる強力な運動の結果、去る十一月十日、県知事から運輸大臣に飛行場設置許可申請書が提出されました。これによると、飛行場の名称は「大館能代空港」、滑走路は二千メートルで、定員百六十から二百人程度の中型ジェット機が就航する第三種空港となっていて、平成十年十月開港としています。

これに先立ち、本年七月には空港建設予定地の地権者で結成している地権者会が同意書を取りまとめ県に提出。さらに十一月四日には、運輸省が空港建設予定地の飛行検査を実施しています。飛行場設置許可は、他空港の例では三カ月ほどかかっていますが、大館能代空港については、事前の審査が十分なことから、この期間が大幅に短縮されるものとみられています。

市としても一日も早い開港を目指して、さらに運動を展開していくと同時に、空港を単なる輸送手段とするのではなく、地域振興に結び付けるべく地区懇談会やフライトシンポジウムを開催するなど、活用についても検討していく考えです。

短期大学の設置状況について

去る十一月一日に学校法人秋田経済法科大学より短大の名称を「秋田桂城短期大学」に決定した旨の発表がありました。

名称の公募一カ月間に千四百十五通、そのうち大館市からは三百七十三通、大館市以外の県北からは百九十七通の応募がありました。また、名称の種類は八百二十一種類にも及び、地元に関心の高さがうかがわれ、誠に心強いものがあります。「秋田桂城」の名称は、県内はもとより東北各地から学生が集い、広く人材を送り出すという短大設置の趣旨からして、誠にふさわしく、地元にも受け入れやすいと考えています。

今後は地域一丸となって来年四月の文部省申請と、秋田桂城短期大学の一日も早い設置実現に向け、引き続き強力な運動を展開していきたいと思えます。

その他の報告

- ▽石田博英氏の市民葬について
- ▽ライブハウスのオープンについて
- ▽きりたんぼまつりと郷土品まつりについて
- ▽公共事業の発注と進み具合について



11月16日、鉱山が操業休止を発表